

## (別紙)

様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成30年5月29日(火) 16時00分 開会 16時54分 閉会
開 催 場 所	議会議事棟 第1・2議員控室
出 席 者 氏 名	【推進委員】 山野寺委員、小寺委員、横山委員、信太委員、田村委員、川上委員、 村田委員、青砥委員、水島委員、土門委員 【オブザーバー】 オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課 谷主査、玉利主任
欠 席 者 氏 名	
事務局職員職氏名	町長、広島総務部長、小室政策主幹、伊藤政策担当主査、 長尾政策担当
議 題	1 開会 2 委嘱状交付 3 美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について 4 美幌版総合戦略掲載事業における平成30年度指標の追加について 5 今後について 6 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	2名(報道)
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について</li> <li>・美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略</li> <li>・付属資料 アクションプラン(案)(個別施策工程表)</li> <li>・美幌版総合戦略の推進に向けたスケジュール</li> <li>・移住・二地域居住・就労トータルサポート事業</li> </ul>
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>それでは、平成30年度第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催いたします。</p> <p>なお、本日、委員は全員出席の予定でございますが、土門さんにおかれましては、遅れて参加になろうかと思いますが、定刻ですので始めさせていただきますと思います。</p> <p>本日の会議から、オブザーバーといたしまして、オホーツク総合振興局より、2名参加をいただいております。後程、事務局よりご紹介をさせていただきますと思います。</p> <p>また、次第に先立ちまして、前回お話をさせていただきました、網走信用金庫佐々木支店長が異動になりまして、今回新たに川上支店長が後任として、この会議に参加されるようになりました。</p> <p>それに伴いまして、早速、町長の方から委嘱式を始めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><b>次第2 委嘱状交付</b></p>
広島総務部長	<p>皆さま、ご苦労さまでございます。</p> <p>ただ今、会長からお話がありまして、網走信用金庫の支店長の異動で、今回、川上支店長が後任として委員になられるということで、委嘱状の交付をさせていただきますと思います。</p> <p>早速、土谷町長より委嘱状の交付を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
土谷町長	<p>川上 勝利 様。</p> <p>美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会委員を委嘱します。</p> <p>任期、平成30年5月29日から平成31年7月26日まで。</p> <p>平成30年5月29日、美幌町長土谷耕治。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
川上委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
広島総務部長	<p>川上支店長、お引き受けいただきありがとうございます。</p> <p>また、今後ともよろしくお願いいたします。</p>
川上委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
広島総務部長	<p>それではここで町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
土谷町長	<p>改めまして、ご苦労さまでございます。</p> <p>第1回目の美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今、会議に先立ちまして、川上支店長様に委嘱状をお渡ししました。在任期間よろしくお願いいたします。</p> <p>また、今日はオブザーバーとしてオホーツク総合振興局の地域創生部地域政策課の谷主査、玉利主任がお見えになっておりますので、今後とも色々アドバイスをいただける場面があるかと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>今日は、第1回目ということで、アクションプランの改訂についてと、平成30年における指標の追加について後程、担当の方から説明をさせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。</p> <p>今日は、本当にお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。どうかよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>それではここで、先程、委嘱状を交付させていただきました、川上委員より一言ご挨拶いただければと思います。</p>
川上委員	<p>はい。皆さんこんにちは。</p> <p>私、平成30年4月2日より、佐々木の後任として美幌支店に赴任して参りました。帯広市から参りまして、美幌は実は、平成10年から6年間勤務した経験があります。その時はまだ新人ということもあり、美幌町に対して、まち・ひと・しごと創生推進委員会はなかったのですが、まだ何もわからず貢献出来ていなかったという悔いが残っておりますけれども、この4月から参りまして、経済の血液である金融仲介機能、これを遺憾なく発揮して、この推進委員会の発展に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p>
広島総務部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>引き続き、様々な角度から忌憚のないご意見をいただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、町長につきましては、他の用務がございますので、ここで退席をさせていただきますと思います。</p>
土谷町長	<p>よろしく願います。ありがとうございました。 (町長退席)</p>
広島総務部長	<p>それでは先程、町長、会長からも話がありましたが、今回よりオブザーバーとしてオホーツク総合振興局より、お二人の方が参加していただいておりますので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まずは、地域政策課谷主査でございます。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 谷主査	<p>谷です。どうぞよろしく願いいたします。</p>
広島総務部長	<p>続きまして、玉利主任でございます。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 玉利主任	<p>玉利と申します。よろしく願います。</p>
広島総務部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、委嘱状の交付及び振興局の紹介を終了させていただきたいと思っております。</p> <p>引き続き、会長の進行の方でよろしく願いしたいと思います。</p>
横山会長	<p>それでは、この後3、4、5という形で進めさせていただきたいと思っております。前回から新しく小寺委員並びに川上委員にも、ご参加賜ります。また、先程部長からも紹介がありました振興局様より二人の方がオブ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>ザーバーとして本日から出席していただけるようになっておりますので、皆さん忌憚のないご意見を色々賜りまして、今後も美幌町の発展に向け、取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきまして、3番の「美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について」を事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>次第3</b> <b>美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について</b></p> <p>皆さま、ご苦労さまでございます。</p> <p>それでは私の方から「美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について」ということで、ご説明させていただきます。</p> <p>前回の会議におきまして、アクションプランと総合戦略の改訂を一旦皆さんに提示しましたが、一部漏れ等がありましたので、追加及び修正する項目について今日のご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>まずは、別添の「美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について」という資料をご覧くださいと思います。</p> <p>アクションプラン3ページの「はじめての木づかい事業」というところで、これにつきましては、今までは満1歳を迎える幼児を対象として町産認証材で出来た「木のおもちゃ」を贈呈しておりましたが、平成30年度より新1年生の子どもを対象として町産認証材で出来た「文房具」を贈呈することとなり、事業内容が拡大したため修正したいと考えております。</p> <p>次にアクションプランの14ページ、赤字で示しておりますが、「産後1か月健康診査補助事業」について、産後1か月健診における「母及び児童の児、いわゆる子ども」の健康診査に係る費用と交通費を助成するとありましたが、対象者は「産婦」のみであるため文言の修正を行いたいと考えております。</p> <p>続きましてその下「特定不妊治療費補助事業」についてですが、平成30年度から実施している事業で、医療保険適用外の特定不妊治療に要する費用を助成することにより、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図る事業となっており、これは地方創生に資する事業であるということから新規に掲載するというものでございます。</p> <p>続きましてその下「乳幼児等予防接種扶助事業」についてですが、これは、里帰り出産中に受けた予防接種費用を扶助することで、乳幼児等の健康の保持及び家庭の経済的負担の軽減を図る事業となっており、これにつきましても地方創生に資する事業であるため新規に掲載するものでございます。</p> <p>次に22ページをご覧くださいと思います。「美幌高校寄宿舎運営補助事業」についてですが、これにつきましては、その下の「美幌高等学校教育後援会補助事業」が平成30年度より実施することに伴い整理してもらったところ、平成29年度に「寄宿舎運営補助事業」を実施していたことが判明し記載の漏れがあったため、実施のところは29年度で終わっていますが、改めて記載させていただいたところでありました。当時の事業内容につきましては、美幌高校寄宿舎に入寮している生徒支援と、道内外から入学する生徒への寮確保を目的として、寄宿舎の維持運営を図るという事業でありました。</p> <p>この事業を見直したものがその下の「美幌高等学校教育後援会補助事</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>業」でございまして、事業内容につきましては、美幌高校寄宿舎に入寮している生徒の生活支援と、今後道内外から入学する生徒への寮確保及び生徒募集のPR活動を行うための経費を支援するため、教育後援会に補助を行うというものでございます。</p> <p>こういった観点から地方創生に資する事業であるということから新規に掲載するものでございます。</p> <p>以上、アクションプランの改訂について、前回から漏れている部分につきまして説明させていただきましたが、これに伴いまして「美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」におけるそれぞれの対応箇所の「具体的な施策と重要業績評価指標」についても改訂しております。</p> <p>前回の会議で示した改訂につきましては、既に説明しておりますので、今回新たに改訂した部分のみ説明させていただきたいと思います。</p> <p>資料は、総合戦略の方をご覧くださいと思います。まず35ページですが、「移住の推進」の主な事業として「移住・二地域居住・就労サポート事業」及び「関係人口創出事業」を追加しております。この事業につきましては、前回説明いたしました改訂版に追加されていなかったことから、今回追加したところでございます。</p> <p>次に36ページ、施策の「婚活総合支援」の主な事業として「ピンクの婚姻届事業」を追加しております。この事業に関しましては、皆さんもご存じかと思いますが、既にやっている事業でございまして、今回整理を行ったところ漏れていることが判明しましたので追加させていただくというところでございます。</p> <p>次にその下の施策「妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援」の主な事業に、先ほどご説明いたしました「特定不妊治療費補助事業」及び「乳幼児等予防接種扶助事業」を追加しております。</p> <p>次に39ページをご覧くださいと思います。中段ほどの施策「地域力を生かした教育環境の整備」の主な事業に、先ほどご説明しました「美幌高等学校教育後援会補助事業」を追加したところであります。</p> <p>なお、その上の「美幌高校寄宿舎運営補助事業」に関しましては、事業名を変えて運営していることから、記載されているかと思いますが、削除をお願いしたいと思います。すみませんが、よろしくお願いいたします。</p> <p>その下の施策「地域住民と連携した防災体制の充実」の主な事業に、「自主防災活動推進事業」を追加しております。この事業につきましても、昨年度から追加したところでございますが、整理をしたところ、この事業も記載から漏れていることが判明しましたので、追加をさせていただきたいと思います。</p> <p>なお、この改訂に伴いまして、予算の一覧も修正しております。</p> <p>詳細についてのご説明は、省略させていただきますが、後程目を通していただければと思います。</p> <p>以上、「美幌版総合戦略」及び「アクションプランの改訂」の内容でございまして、</p> <p>ご審議の程、よろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今、説明をいただきました。</p> <p>それぞれ追加となりました、アクションプラン並びに総合戦略につきまして皆さんの方からご意見を賜りたいと思いますが、何かご意見ございませんでしょうか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>広島総務部長</p>	<p>2カ所訂正したいと思うのですが、今、小室主幹が説明した中でアクションプランの22ページになります。事業名で「美幌高等学校教育後援会補助事業」がございますけど、これが事業名としては「美幌高等学校教育支援事業」に変更になりますので訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>同じ様に総合戦略の39ページ、先程追加をしました「地域力を生かした教育環境の整備」の一番下になりますけども、ここも「美幌高等学校教育支援事業」という形に変わりますので訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>もう1カ所、同じ様にA3の基本戦略の最後のページで16番目も同じ事業名で「美幌高等学校教育支援事業」ということになりますので、ここも訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>訂正は以上でございます。よろしく申し上げます。</p>
<p>小室政策主幹</p>	<p>申し訳ございませんでした。</p>
<p>横山会長</p>	<p>それでは、ただ今の訂正した部分も含めまして、何か皆さんの方からご意見はありませんか。</p>
<p>村田委員</p>	<p>質問ですけど、今の教育プランのことで、この中で教育後援会の補助を行うとあるのですけど、教育後援会というのは、どういう組織ですか。</p>
<p>広島総務部長</p>	<p>今、美幌高等学校の間口対策と、町外から来られる方の入寮生のための寮運営の安定的なものに対して補助を行う事業でありますけども、それが今、全町の中で推進出来る組織を立ち上げようという形で進んでございます。名称は忘れたのですけども、その会を新たに作って、それに議会も町も入るものですから、そこが補助団体にはなり得ないということで、その中の構成団体として美幌高等学校教育後援会という組織があるのですけれども、ここが主体的にその事業については実践していただくということで、今までも高等学校の教育後援会の支援をやって来た団体ですけども、そこに寮の対策と間口対策の部分を会則の中に付け加えていただいて、企画立案はその上の団体でやるのですが、事業の実施はこの団体をお願いをするということで、補助先はこの後援会になるのですけれど、事業としては先程言った美幌高等学校教育支援事業という形の中で整理をさせていただくということで考えています。</p>
<p>横山会長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>村田委員</p>	<p>はい。もう1ついいですか。</p> <p>関係人口創出事業の中で、例えば東京美幌会との関係というのは、あれもここに含めるということですか。</p>
<p>小室政策主幹</p>	<p>はい、そのとおりでございます。よく、ふるさと会というところで、軽い繋がりのあるような人たち、あるいは、前にも説明させていただきましたが、ふるさと納税等を行って、所縁はないけれど美幌町を側面支援していただいているような、そういった方々を関係人口と謳っておりますので、今言ったふるさと会等は関係人口にあたるということでございます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>よろしいですか。他、ございませんか。</p> <p>それでは無いということで、先程説明していただきました、総合戦略及びアクションプランを、今説明していただいたとおり改訂させていただきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは次に4番であります、「美幌版総合戦略掲載事業における平成30年度指標の追加について」ということで、事務局より説明をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p><b>次第4</b> <b>美幌版総合戦略掲載事業における平成30年度指標の追加について</b></p> <p>それでは、ただ今ご説明させていただきました「美幌版総合戦略及びアクションプラン」の改訂に伴い、指標についても追加しておりますので、この部分についてご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>資料の基本戦略3をご覧くださいと思います。ここにNo.6「特定不妊治療費補助事業」がありますが、平成30年度の申請件数15件というKPIを設定させていただいております。事業費につきましては、平成30年度の予算で225万円となっております。</p> <p>その下のNo.7「乳幼児等予防接種扶助事業」についてですが、これの指標につきましては、扶助件数を11件ということで目標年月を平成30年度末としております。予算につきましては74万4千円となっております。</p> <p>次に基本戦略4の2枚目、この資料の最終ページですが、No.16の「美幌高等学校教育支援事業」についてですが、平成30年度の寄宿舍入寮者数を6人という設定をしております。予算額につきましては、317万3千円でございます。なお、この目標年月は、平成30年4月ということで、既に経過しておりますが、既に実績が出ております。入寮者数6人に対して7人というところでございます。内訳といたしまして、3年生が2名、1年生が5名ということで、7人の実績となっております。</p> <p>以上、追加事業における指標について説明させていただきました。よろしくをお願いします。</p>
横山会長	<p>ただ今、追加につきまして、説明をいただきました。皆さんの方から、ご意見等ありませんか。</p> <p>何かございませんか。</p>
田村委員	<p>補足説明でも良いですか。</p>
横山会長	<p>はい、お願いします。</p>
田村委員	<p>美幌高校の田村です。</p> <p>先程の「美幌高等学校教育支援事業」について、メインは寮の運営支援ということになりますけども、本校の寮というのは男子寮で、遠隔者寮であります。それで、最大40人の寮室出来るのですが、年々、少子化と様々な要因で子どもの数が減って、寮生が減って来ています。そうすると、寮に係わる経費の運営部分の固定費と言われている部分、例えば、賄いさんが1人いますけど、その賃金だとか水道・光熱費に係わる部分、これは寮生の数に関係なく一定数の経費が掛かる部分で、人数</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>が少なくなると、寮そのもの自体の運営が困難になります。それで今回、この寮の支援事業をいただいて、寮を運営していくという形になります。現在人数については、先程説明がありましたけれども、若干訂正があって、3年生が今1名、1年生が6名ですね。</p> <p>先程聞いた話と少し違いますね。すみません。</p>
田村委員	<p>はい。</p> <p>2年生が残念ながら0名。こういった子どもたちは、どこから来ているかという、主にオホーツク管内の北見、佐呂間、紋別、それから札幌の子がいます。後は、本州からも若干来られる制度がありまして、現在来ているのですけれども、昨年までは千葉出身の子もいましたけど、現在は入学生ではいるけれども、親戚の家から通って来ているので、寮生ではないですね。そういったところの性格を持っているということ、教育後援会のことも先程質問もありましたけど、教育後援会については、どこの学校にもあります、文化・スポーツの教育後援会でありまして、保護者が会員になって子どもたちの部活動、遠征等に対して支援する会でございます。ここに特別会計と、規約改正をして、この支援の受け皿、窓口を設けたということです。</p> <p>以上です。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p>
小室政策主幹	<p>すみません。先程の追加事業の指標で漏れていたものがありましたので、追加で説明させてもらってよろしいでしょうか。基本戦略2の説明が漏れていました。申し訳ございません。</p> <p>基本戦略の2のNo.2の「移住・二地域居住・就労トータルサポート事業」についてですが、これは後程、この部分若干説明させていただきますが、この指標につきましては、移住、就労の数を2人ということで、この目標年月につきましては、この総合戦略の期間であります平成31年度末までに、この事業で2人の移住もしくは就労という人を呼びたいと考えております。</p> <p>その下の「関係人口創出事業」ですが、これにつきましては今、道の方と道の事業のモデル事業として登録させていただき、採択になったところですが、ここの部分で、仮称ですが「ふるさとサポートクラブ」というものを設けて、その登録される部分が1年あたり30名を目標にしましょうということですので、2カ年で60名の登録人数を目指すという指標としているところです。この予算につきましては、今のところ道から配分していただく予算でやりますので、事業費の方は掛からないということと、その上の「移住・二地域居住・就労トータルサポート事業」の予算につきましては、今後の展開によって補正も視野に入れていますが、現段階においては予算は0ということになっていますので、ご理解の程、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>以上、追加で説明させていただきました。</p>
横山会長	<p>それでは、今の追加の説明と田村校長先生からの補足がありました。何かご意見ございますか。なければ、基本戦略3の6と7に関する部分が、水島副会長が気になるところがあるということですので。</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	<p>指標値の15件というのは、何か基になるもの、不妊治療が必要な人の割合から出しているのか、何を基にした15件という件数を目標にしているのかということと、とても女性としてはデリケートの問題と言いますか、広報等にドンとこういう事業をやっていますということを出してしまっているものなのか、それとも産婦人科とかで相談に行った時に、「美幌町ではこういうことをやっていますよ」という風に広めて行った方が良いものなのか、どういう風に周知と申しますか、こういう事業を女性としてはやっていただきたい事業ですが、ある意味デリケートな部分でもあったりするのでは、広報とかに全面的に出して良いものなのかということをお聞きしたいと思っております。どういう風に進めていくのか。</p>
広島総務部長	<p>PRについては、こういう事業を平成30年度、今年度予算から予算を組んでということでスタートさせていただいたのですが、基本的に15件の設定も、北海道がまずこの補助制度を持っていて、美幌町の今回作ったモデル制度については、北海道の補助制度の上乗せ補助ということで、北海道の補助を受けるというのが大前提です。</p> <p>それらの件数を基として15件という設定をKPIではさせていただいたというのがまず1点でございます。</p> <p>PRをどうするかということについては、議会の一般質問の中でも相当不妊治療に対する自己負担の高さが、子どもが欲しくてもなかなか経済的なものであるということも、再三一般質問も出ていまして、それらを踏まえて、今回、町としては上乗せ補助を創設したということで、せっかく作った制度を使わせていただくと、これは手を上げてというよりも、北海道の補助を受けたら、その写しをいただきましたよと、その中で、掛かった経費に対して、上乗せして自己負担は極力少なくするという形で考えておりますので、どんどんPRをしていきたいと思っておりますし、そういった形で経済的な理由でなかなか不妊治療に行けないという方も多くいると話を聞いておりますので、こういう制度で自己負担があまり掛からず治療を受けられることについては、PRを積極的にしていく必要があるかなと。確かに、デリケートな話ではあるのですが、これが皆さんに分かるような形でということではなくて、基本的には夫婦間の問題でもございますので、それらを踏まえて治療を受けたい、受けられる環境を整えるということで制度化したものですからPRは図って行きたいと考えております。周りの方も、こういう制度が出来たよという形でPRをしていただければなど、困っている方がいらっしゃったら、していただければと考えております。</p>
横山会長	<p>あと、基本戦略1 No.6の森林担当の「はじめての木づかい事業」がありますが、28年度の実績が112名ということで、30年度は120名になっているけど、28年度は、新1年生は入ってなかったはずですよ。それで今回30年度、新1年生を入れて、数字的に112名を120名、そう大して変わらないというのは、数字的には、おかしな数字ではないかと思うのですが。</p>
長尾政策担当	<p>新1年生は入っていないと現課から聞いています。</p>
横山会長	<p>入っていない数字ですか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	はい。
横山会長	それを追加するのであれば、目標値も修正しないと。
長尾政策担当	なぜ入れてないかというのは、これも確認したのですが、新1年生には全員にあげるのでも毎回100パーセントになるため、指標は設定しないとされました。
広島総務部長	産まれた時もそうじゃないの。満1歳の時も。
小室政策主幹	これは追加すべきですね。
広島総務部長	プラスすべきだろうな。
長尾政策担当	はい。わかりました。
小室政策主幹	今の部分、整理させていただきまして、次回これに基づいてまた検証を行うのですが、それまでには整理させていただきたいと思います。今、会長から言われたとおり、事業内容を変えていて、指標だけ変えないということはありませんので、整理させていただきたいと思います。
広島総務部長	この事業設定が良いかどうか。何か、もう少し検証出来るものを、この事業の中で見つけるとか、それも含めて検討しなくてはいけない。
横山会長	基本的に、1歳を迎えるお子さんの数は分かるのですよね。それで、新1年生も分かるわけだから目標値というのは必ずちゃんとした値で、それが100%であっても良いと思いますよね。
小室政策主幹	はい。わかりました。
横山会長	他、何かございませんか。よろしいですか。4番につきましては、よろしくお願ひしたいと思います。 それでは5番目「今後について」何かありましたら事務局の方からよろしくお願ひします。
小室政策主幹	<p><b>次第5 今後について</b></p> <p>それでは「今後について」ですが、スケジュールという資料をご覧いただきたいと思います。上の方から、各担当部局とかプロジェクトチームとかに分かれてやっていますが、現在、各担当部局において事業実績について精査を行っているところであります。</p> <p>今後、提出された事業実施結果を基に「庁内プロジェクトチーム」及び「本部会議」において検証及び審査を行い、7月中旬及び8月中旬頃に当推進委員会において検証を行っていただきたいと考えております。</p> <p>検証後につきましては、皆様の意見等を担当部局に戻し、今後の方針等を再度検討していただくということになります。その後、議会においても検証していただき、10月には皆さまに最終的な報告をさせていた</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>だきたいと考えております。</p> <p>11月には来年度の事業案及びKPIの見直し案を皆さまに提示し、来年度予算に反映させることを予定しています。予算決定後には、来年度に向けた美幌版総合戦略の改定について検討、審査を行い、今年は遅れましたが、本来3月には改訂を行うということになりますのでご承知をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、このスケジュールが順調に推移すれば今後、この推進委員会につきましては今日を除きまして5回程度開催されることとなりますので、皆さまのご協力とご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>また、次回の会議についてですが、後程日程調整表を渡しますので、日程調整の基、開催したいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
横山会長	<p>わかりました。このスケジュールの関係で何か聞きたいこと等ございませんか。よろしいですか。それでは、次回はこのスケジュールで行きますと、7月ということで、改めて日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>今回、なかなか都合が付かず本来であればこの後皆さんと、更に懇親を深めたいという場の案内を差し上げたところではありますが、改めて7月の段階で振興局さんもお見えになっていますし、職員の一部変更もありましたので、それらを踏まえて何とかやっていきたいと思っておりますので、それを含めての日程調整の確保をよろしくをお願いしたいと思います。</p>
広島総務部長	<p>今、会長からお話がありましたので、4月の人事異動で担当する職員が代わっています。主に担当していました森久保主査が、3年間の期間を終えて北海道に戻っておりますので、町も4月1日付で人事異動を行って、私と小室主幹は代わっていないのですが、担当主査以下が代わっていますので、紹介をさせていただきたいと思っております。</p>
伊藤政策担当主査	<p>まちづくりグループ政策担当の主査をやっております、伊藤寿と申します。計画担当主査の森久保は、私の隣に在籍していたのですが、この総合戦略関係は、この4月から政策担当の方で引き継ぐことになりましたので、これからどうぞよろしく申し上げます。</p>
長尾政策担当	<p>政策担当の長尾と申します。どうぞよろしく申し上げます。前任の森久保から引き継いだことを勉強しながら取り進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に初めて出席になりましたが、振興局より谷主査、玉利主任がお見えになっております。感想を含めて一言申し上げます。</p>
小室政策主幹	<p>すみません。先に「その他」の方をやりたいのですが、よろしいですか。</p>
横山会長	<p>はい。わかりました。</p> <p>それでは申し上げます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p><b>次第6</b> <b><u>その他</u></b></p> <p>6番目の「その他」といたしまして、皆さまの資料に、先程も若干説明させてもらった「移住・二地域居住・就労トータルサポート事業」の中身について、これにテレワークの部分が入るかもしれませんが、この部分で事業の概要を説明させていただきたいと思います。</p> <p>この事業につきましては、美幌町単独実施は難しいので地域間連携により取り進めたいということ、また地方創生交付金を活用して事業を推進したいということについては、前回説明させていただいたところです。その後、色々な形で検討してやっていたけど、本町も加入しております全道広域により組織されている「北海道田舎活性化協議会」に投げ掛けていて、現在、実施可能な自治体の取りまとめを協議会の方で行っていただいているところであります。</p> <p>美幌町としては、せっきく全道の幅広い地域により連携している組織であることから、構成自治体全部の参加を以て実施したいと考えておりますが、現段階において全ての自治体において参加意向があるかどうかということがわかっていないため、この事業は実施に至るかどうかは決まっていないところです。そのことを、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>しかしながら、先ほども申し上げましたが地方創生推進交付金を活用した上で事業を取り進めることといたしておりますので、その交付金の申請にあたり、事前相談というのがございまして、その事前相談の締め切りが明日ということもあり、とりあえず全ての自治体が参加するという仮定の下、明日オホーツク総合振興局の谷主査様の方に事前相談書を提出する予定となっております。谷主査、玉利主任には大変お世話になります。よろしくお願いします。</p> <p>そういったことも含めて、一応出してもらって、もしかしたら取り下げるといふ形も考えられますので、そこのところもご理解いただきたいと思っております。</p> <p>なお、事業の概要等につきましては、配布の資料をご覧くださいと思いますが、移住体験と移住後の「仕事」、「住居」、「暮らし」等をトータルのサポートして、体験・調査を組み合わせた「マッチング事業」となっております。</p> <p>この事業につきましては、もし、推進交付金を利用してやるとなれば、3か年を想定してございまして、1年目の平成30年度の事業内容は2として記載しておりますが、事業の参加希望者は、今言った「北海道田舎活性化協議会」の構成メンバーであります10の町から訪問したい自治体を選択します。1件あたりの期間は5日以上で、期間中は就労体験日、住居の紹介、買い物状況や公共施設等「暮らし」全般の紹介及び出来る場所があれば体験メニューの時間等を設けるという内容となっております。</p> <p>事業実施については、交付金の大前提は自立、自走出来る体制を整えるということがありますので、ここもハードルがあるのかもしれませんが「北海道田舎活性化協議会」に委託を行って、事業の実施を行いたいと考えております。</p> <p>3番目に事業の流れにつきましては記載のとおりとなっておりますので省略させていただきますが、次のページで、経費としてはどのようなことが掛かるのかということで、主な経費については、募集経費、事</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>前説明会等に要する経費、参加者の宿泊費及びレンタカー代金等、国内旅行傷害保険加入費などを想定しております。</p> <p>先程も説明させていただきましたが、未定になっておりますので、これらの動向につきましては、次回の時にご説明させていただきたいと思いますが、現段階における事業の内容等につきましては以上のとおりでございます。</p> <p>以上よろしく申し上げます。</p> <p>その他ということで説明いただいたので、明日、相談を持ち上げる形になるかと思っておりますので、確定した段階で皆さまにお知らせしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、谷主査、玉利主任の方から感想等踏まえ、今の部分につきましてもお話いただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 谷主査	<p>本日は、どうもありがとうございます。</p> <p>皆さまにおかれましては、地方創生の道の取り組みに普段からご協力いただきましてありがとうございます。</p> <p>私、平成29年、昨年からおホーツクに赴任いたしまして総合戦略の方を担当させていただきまして、今年2年目となっております。オホーツクの地方版の総合戦略、道で策定はしているのですが、知事からも言われているのが、市町村の総合戦略、こちらを道としてもしっかりサポートして道の独自の総合戦略と両輪で進めて行くことで、管内の全体の人口の流出ですとか交流人口の増加、産業の振興に繋がる各課題を解決していくものと考えております。知事からは、もっと横展開をして、各市町村に色々な成功事例もございますので、そういった情報を積極的に道の方から市町村の方に提供し、連携して取り組んでいく必要があると思っております。</p> <p>今回、この会議に参加させていただきまして、びっくりしたのがあるのですが、こういった検証の機会が5回あるということで、私が把握している限り一番多いのではないかと思います。少ないとこだと、2回ぐらいが平均になりますので、かなりしっかり検証しているという感想を持っております。</p> <p>総合戦略は作るのが目的ではなくて、作るのがスタートになりまして、そこでKPI、数字、そういったものをしっかり検証して小さいところを積み上げてやっと結果が出て来るものだと思います。長い時間が掛かるようなものもあるのですが、そういうところを大切にするには、こういった検証の場が必要だと思います。</p> <p>まだ私も勉強している段階なので、詳しいところはこれから勉強させていただくのですが、これからもどうぞよろしく申し上げます。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 玉利主任	<p>私がオホーツクに来たのは4月からなので、管内の市町村に関しては、ほぼ何も分からない状態で、こういう機会、「この町はこうだ」「この市はこうだ」ということが、地方創生のスタートだと思っておりますので、これからも勉強させてもらう立場にはなりますが、よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今谷主査が言われましたとおり、色々な形で情報提供を含めまして、勉強していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	<p>それでは、終わってよろしいでしょうか。今日の次第につきましては、以上で終了させていただきます。恒例であります、水島副会長の最後の閉めで終わらせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>毎回会議に出席させていただきまして、「私なんかが良いのだろうか」といつも思いながら出席させていただいておりますが、一町民として、お母さんとして、主婦として、「こうだったらいいのにな」というような意見が言える会議にしていけたら良いなと思っていますので今後とも皆さまよろしく願います。</p> <p>皆さま、今日一日お疲れ様でした。</p>
横山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、また追って事務局から日程調整させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>終わります。ありがとうございました。</p>

了